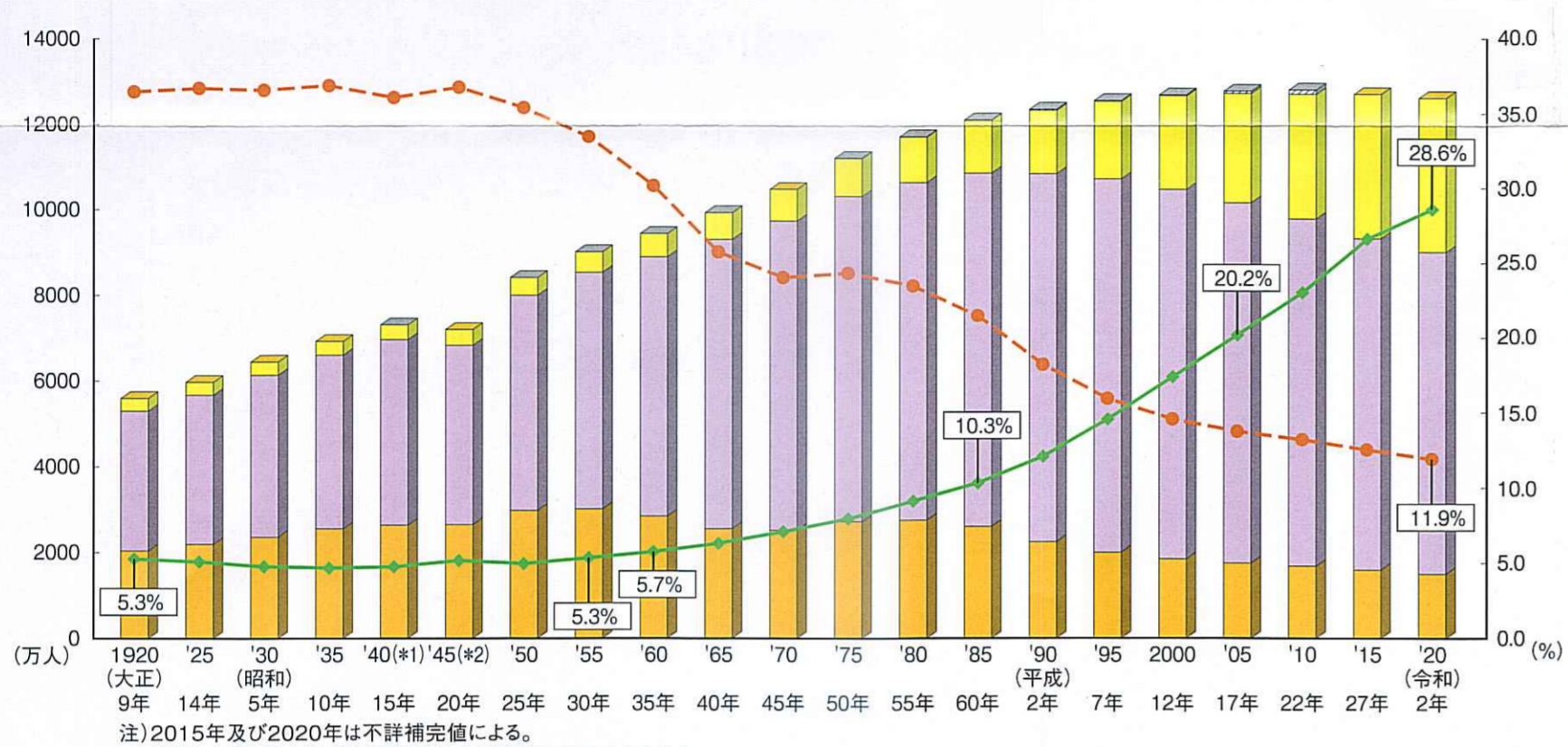


# 国勢調査 2020 国勢調査でわかる人口の高齢化

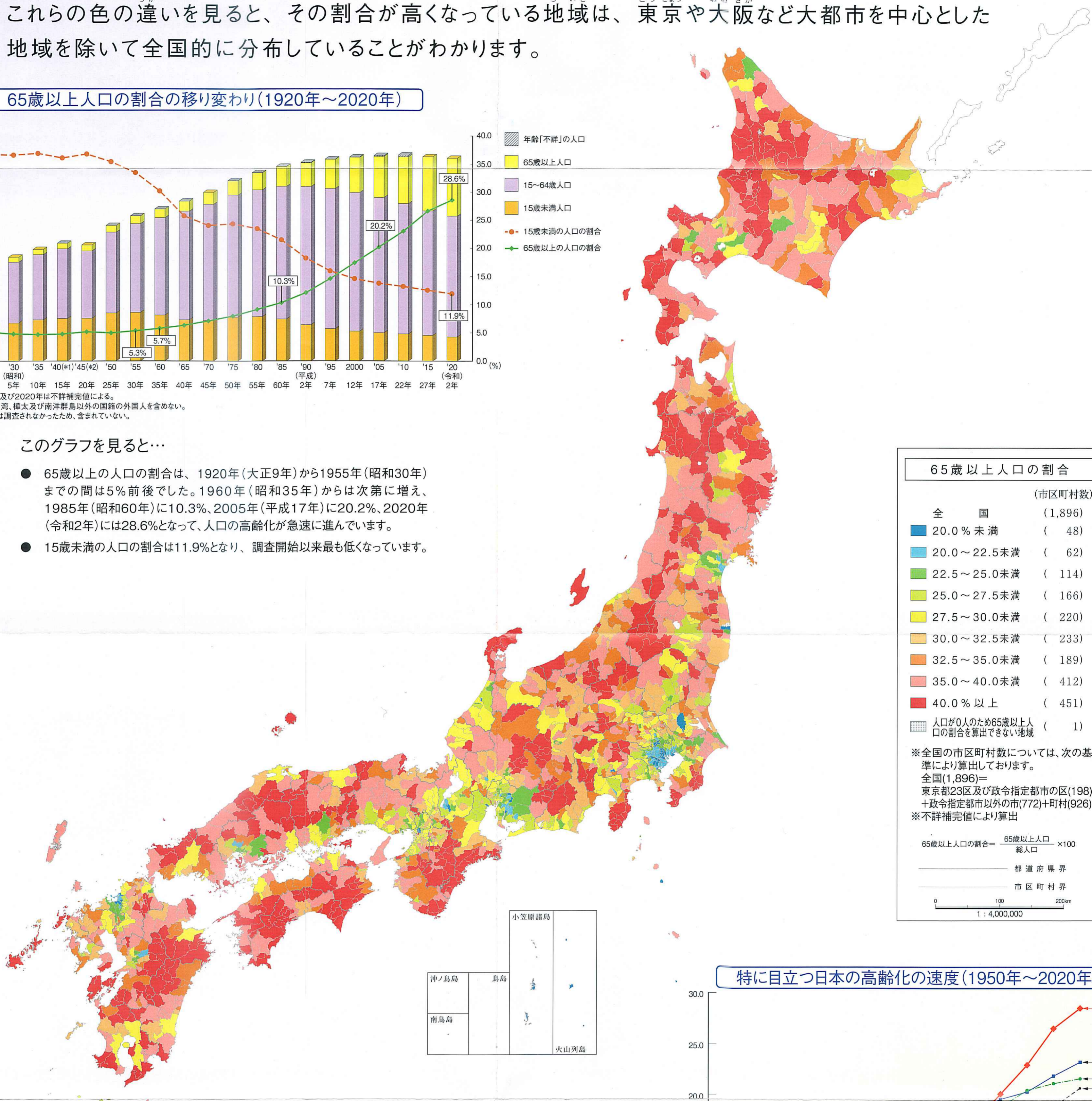
この地図は、全国の市区町村ごとに65歳以上の人口の割合を色で表したものです。65歳以上の人口の割合が高い市区町村ほど濃い赤色になっており、その割合が低い市区町村ほど濃い青色になっています。これらの色の違いを見ると、その割合が高くなっている地域は、東京や大阪など大都市を中心とした地域を除いて全国的に分布していることがわかります。

65歳以上人口の割合の移り変わり(1920年～2020年)



このグラフを見ると...

- 65歳以上の人口の割合は、1920年(大正9年)から1955年(昭和30年)までの間は5%前後でした。1960年(昭和35年)からは次第に増え、1985年(昭和60年)に10.3%、2005年(平成17年)に20.2%、2020年(令和2年)には28.6%となって、人口の高齢化が急速に進んでいます。
- 15歳未満の人口の割合は11.9%となり、調査開始以来最も低くなっています。



割合	市区町村数
全 国	(1,896)
20.0%未満	( 48)
20.0～22.5未満	( 62)
22.5～25.0未満	(114)
25.0～27.5未満	(166)
27.5～30.0未満	(220)
30.0～32.5未満	(233)
32.5～35.0未満	(189)
35.0～40.0未満	(412)
40.0%以上	(451)
人口が0人のため65歳以上人口の割合を算出できない地域	( 1)

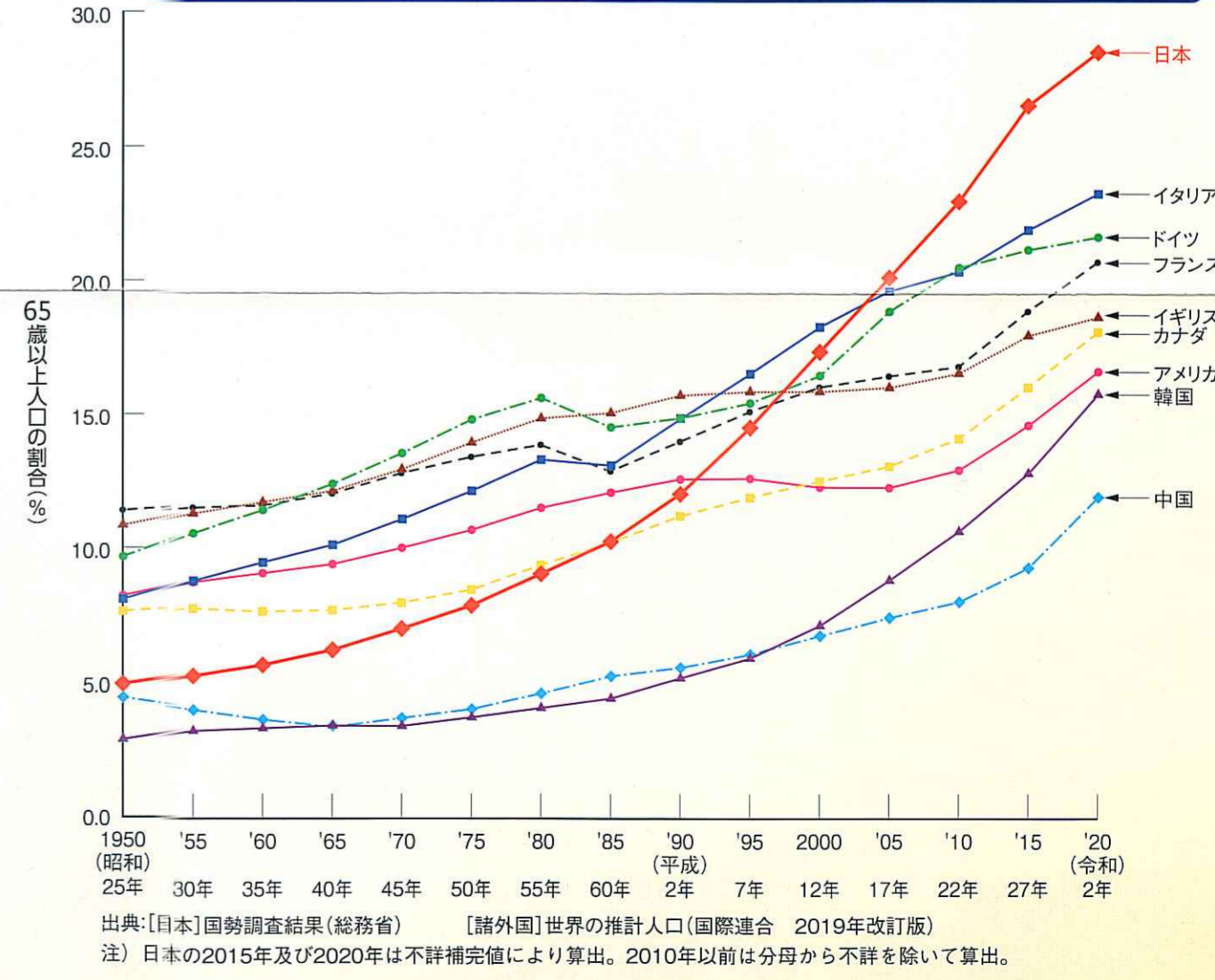
※全国の市区町村数については、次の基準により算出しております。  
 全国(1,896)＝東京都23区及び政令指定都市の区(198)＋政令指定都市以外の市(772)＋町村(926)  
 ※不詳補完値により算出

65歳以上人口の割合＝ $\frac{65歳以上人口}{総人口} \times 100$

部 道 府 県 界  
 市 区 町 村 界

0 100 200m  
 1 : 4,000,000

特に目立つ日本の高齢化の速度(1950年～2020年)



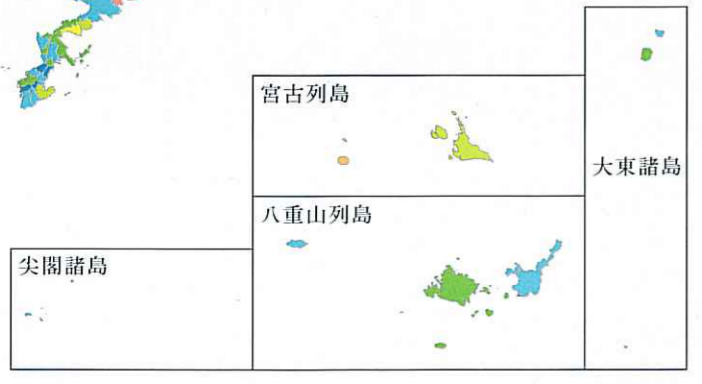
このグラフを見ると...

- 日本の65歳以上の人口の割合は、急速に伸びています。寿命が延びたことや子供の数が減ったことなどの影響により、世界の中でも日本の高齢化の進み具合が目立っています。



## 国勢調査って何??

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、1920年(大正9年)から5年ごとに行われています。調査の結果からは、人口や世帯についてのいろいろなことがわかります。それを過去の結果とあわせてみると、人口の移り変わりなどを知ることができ、また未来の予測にも役立ちます。



センサスくんといちばんは「国勢調査」のイメージキャラクターです。都道府県市区町村境界は「国土数値情報(行政区画及び湖沼データ) (国土交通省) (https://nftp.mlit.go.jp/ks/index.html)」を加工して作成しています。